

「暴言するなら 法案成立後に」

麻生副総理

自民党麻生派会長の麻生太郎副総理兼財務相は6日の同派総会で、戦争法案をめぐる政府・自民党から世論の反発を招く発言が相次いでいることに関連し、「自分の気持ちを言いたいんだったら、法案が通ってからにしてくれ」と述べ、発言を控えるよう求めました。

麻生氏の発言は、同派所属の武藤貴也衆院議員が戦争法案に反対する学生団体を「利己的」と批判したことなどが念頭にあります。ただ、武藤氏は総会を欠席しました。

法案に関しては、儀崎陽輔首相補佐官が「法的安定性は関係ない」と発言、陳謝して撤回するなど、迷走が続いています。麻生氏は「(戦争法案に反対する)聞く耳を持たない人にも、嫌でも聞いてもらわないと仕方がない。きちんとやらねばならん」と所属議員らに呼び掛けました。